



静岡県労働金庫

静岡ろうきんの現況 半期DISCLOSURE 2019 2019.4.1~2019.9.30

当金庫は、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関として、皆様からの信頼にお応えするために健全経営に努めています。本ディスクロージャーは、直近の経営内容を多くの皆様にご覧いただくために、2019年9月末時点の経営情報を取りまとめ、自主的にご報告するものです。

▶2019年度 上半期事業概況

◆静岡ろうきんの概況(2019年9月末)

■本店所在地	静岡市葵区黒金町5番地の1	■常勤役員員数	740人
■創立	1953年3月1日	■団体会員数	2,393会員
■出資金	38億円	■間接構成員数	566,180人
■店舗数	27店舗 ※インターネット静岡支店を含みます。		

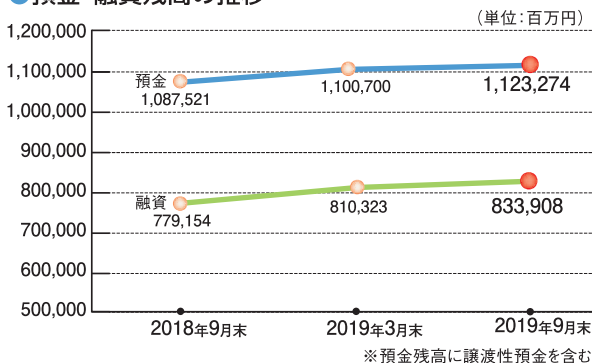
◆預金・融資・預かり資産の状況

●年度計画に対する進捗率

	年度増加計画	増加実績	進捗率
預金	△17,500(※1)	22,574	464.30%
預かり資産	2,700(※2)	△302	△0.71%
融資	30,000	23,584	78.61%

※1. 2018年度に受入れた短期公金預金285億円を調整しており、年度増加計画は実質110億円となります。
※2. 2019年度より目安目標に変更しています。

●預金・融資残高の推移



◆損益の状況

2019年9月末の当期純利益は
14億22百万円
(前年同期10億32百万円)となりました。

	2018年9月末	2019年9月末	増減
業務純益	1,454	1,796	342
経常利益	1,383	1,727	343
当期純利益	1,032	1,422	389

◆貸借対照表

科目	2018年9月末	2019年9月末	科目	2018年9月末	2019年9月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金	7,879	7,383	預金積金	1,064,849	1,100,280
預け金	373,668	360,794	普通預金	329,111	345,296
有価証券	143,081	143,883	定期預金	734,793	754,082
貸出金	779,154	833,908	定期積金	—	—
手形貸付	11,079	9,904	その他の預金	944	901
証書貸付	759,315	815,155	譲渡性預金	22,672	22,994
当座貸越	8,759	8,847	借入金	145,212	148,701
その他資産	9,568	9,329	その他負債	2,908	2,558
有形固定資産	6,981	6,879	代理業務勘定	—	—
無形固定資産	13	13	賞与引当金	398	396
前払年金費用	92	127	退職給付引当金	3,822	3,237
繰延税金資産	1,003	302	役員退職慰労引当金	44	34
債務保証見返	1,746	1,431	その他の引当金	351	281
貸倒引当金	△87	△95	債務保証	1,746	1,431
(うち個別貸倒引当金)	△0	△0	負債の部合計	1,242,006	1,279,916
			(純資産の部)		
			出資金	3,879	3,872
			利益剰余金	75,386	76,795
			処分未済持分	△0	△2
			会員勘定合計	79,265	80,664
			その他有価証券評価差額金	2,160	3,518
			繰延ヘッジ損益	△330	△140
			評価・換算差額等合計	1,830	3,377
			純資産の部合計	81,095	84,042
資産の部合計	1,323,102	1,363,958	負債及び純資産の部合計	1,323,102	1,363,958

◆損益計算書

科目	2018年4月1日から 2018年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで
経常収益	7,958	7,992
資金運用収益	6,851	6,718
役員取引等収益	412	412
その他業務収益	694	860
その他経常収益	0	0
経常費用	6,574	6,265
資金調達費用	306	242
役員取引等費用	1,384	1,413
その他業務費用	5	1
経常費用	4,872	4,597
その他経常費用	6	10
経常利益	1,383	1,727
特別利益	—	190
特別損失	1	2
税引前当期純利益	1,381	1,915
法人税、住民税及び事業税	389	417
法人税等調整額	△40	74
当期純利益	1,032	1,422



◆自己資本比率の状況

(単位:百万円)

自己資本の構成に関する主な開示事項	2019年3月末	2019年9月末 (概算値)
コア資本に係る基礎項目の額 (経過措置による算入額) (イ)	79,335 (-)	80,759 (-)
コア資本に係る調整項目の額 (経過措置による不算入額) (ロ)	62 (-)	67 (-)
自己資本の額 (イ) - (ロ) (ハ)	79,273	80,692
リスク・アセット等の額の合計額 (経過措置による算入額) (ニ)	655,544 (△4,970)	679,994 (△4,968)
自己資本比率 (国内基準) (ハ) / (ニ)	12.09%	11.86%

(単位:百万円)

定量的な開示事項	2019年3月末	2019年9月末 (概算値)
信用リスクに対する所要自己資本の額	25,361	26,340
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	859	859
単体総所要自己資本額等	26,221	27,199

当金庫の自己資本比率は2019年9月末現在

11.86% となっており、

国内基準の最低所要自己資本比率である
4%を大きく上回る水準を維持しています。

(注)

- 左表2019年9月末時点の自己資本比率は、内部規程に基づき3月末決算に準じて算出した概算値です。
- 2014年3月末よりパーゼルIIIを適用した自己資本比率規制告示(平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号、最終改正:平成26年3月28日)に示された基準により計算しています。



◆債権管理の状況

総貸出金に占めるリスク管理債権額の割合は、0.31%となっています。またリスク管理債権に対しては、担保や保証機関の保証、貸倒引当金を引き当てることにより債権保全を図っています。

●リスク管理債権の状況

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
破綻先債権	168	280	158
延滞債権	2,371	2,315	2,441
3か月以上延滞債権	38	24	18
貸出条件緩和債権	—	—	—
合計	2,578	2,621	2,617
総貸出金残高	779,154	810,323	833,908
総貸出金に占める割合	0.33%	0.32%	0.31%

●金融再生法ベースの資産査定状況

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	824	882	849
危険債権	1,715	1,714	1,751
要管理債権	38	25	18
(小計)	(2,578)	(2,621)	(2,618)
正常債権	779,061	810,046	833,311
合計	781,640	812,668	835,929

(注)「リスク管理債権」では貸出金のみを対象債権としていますが、「金融再生法ベース」では貸出金のほか債務保証見返や与信関係未収利息、仮払金なども対象としています。

用語解説

【リスク管理債権】何らかの理由により、返済されない等の貸出金債権のこと。破綻先債権、延滞債権、3か月以上延滞債権、貸出条件緩和債権があります。

【破綻先債権】借り手の自己破産などにより、当金庫が返済を受けることが困難になる可能性が高い貸出金のことです。

【延滞債権】今後、上記の「破綻先債権」となる可能性が大きい貸出金、あるいは法的・形式的な破産の事実が発生していないものの、実質的には自己破産の状態に陥っている借り手の貸出金のことです。

【3か月以上延滞債権】借り手に収入が入ってこなくなる(会社の業績不振等)などの理由で当金庫が元金または利息の支払いを3か月以上受けていない貸出金(上記の「破綻先債権」、延滞債権を除く)のことです。

【貸出条件緩和債権】貸出金利の減免や利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄など、借り手に有利となる取決めを行っている貸出金(上記の「破綻先債権」、延滞債権および3か月以上延滞債権を除く)のことです(ただし、借り手に有利な条件であっても、再建・支援目的でなければ「貸出条件緩和債権」には該当しません)。

【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】総与信のうち、破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている借り手に対する債権およびこれらに準ずる債権のことです。

【危険債権】総与信のうち、借り手が経営破綻の状況には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化して契約に従った債権の元本の回収と利息の受取りができない可能性が高い債権のことです。

【要管理債権】貸出金のうち、上記の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と「危険債権」を除いた「3か月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額のことです。

【正常債権】総与信のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」を除いたもので、借り手の財政状態および経営成績に特段の問題のない債権のことです。

◆有価証券の時価情報

●売買目的有価証券
保有していません。

●満期保有目的の債券
保有していません。

●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式
保有していません。

●其他有価証券

(単位:百万円)

種類	2018年9月末			2019年3月末			2019年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
債券	140,113	137,116	2,996	140,122	135,705	4,417	139,781	134,926	4,854
国債	25,375	24,674	701	24,258	23,350	908	21,819	20,839	980
地方債	28,936	28,115	821	30,377	29,149	1,227	30,036	28,699	1,337
社債	85,800	84,326	1,473	85,486	83,204	2,282	87,924	85,388	2,536
その他	2,961	2,986	△24	4,080	4,108	△28	4,094	4,109	△14
合計	143,074	140,102	2,971	144,203	139,814	4,389	143,876	139,035	4,840

(注)○貸借対照表計上額は、2019年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。

○社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。

○時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額 (単位:百万円)

種類	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社・子法人等株式	—	—	—
関連法人等株式	—	—	—
非上場株式	6	6	6
合計	6	6	6

金額・比率の表示方法のご案内

各表に表示した金額単位未満の端数を切り捨てて記載しています(ただし、「金融再生法ベースの資産査定状況」については、金額単位未満を四捨五入しています)。

各表に表示した諸比率は小数点第3位を切り捨てて第2位までを記載しています。

小計・合計等の合算は、円単位まで算出し、金額単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計・合計欄の金額が一致しない場合があります。

金額・比率とも該当数値がない場合は「—」、該当数値はあるものの表示単位に満たない場合は「0」で表示しています。

当金庫では、9月期決算は法定されていないため、会計監査人の監査を受けておりません。表示の計算値等は、内部規程に基づき3月期決算に準じて算出しています。

お預かりした預金を融資としてご利用いただくまでの間、その一部を余裕資金として有価証券等で運用しています。運用にあたっては、安全性を最優先し、収益性と流動性にも留意しています。

静岡ろうきん 半期ディスクロージャー

2019年11月

発行: 静岡県労働金庫

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5番地の1

TEL (054) 221-6100

インターネットホームページ <https://shizuoka.rokin.or.jp>